

複数資料を読みとりその情報を活用する

ねらい

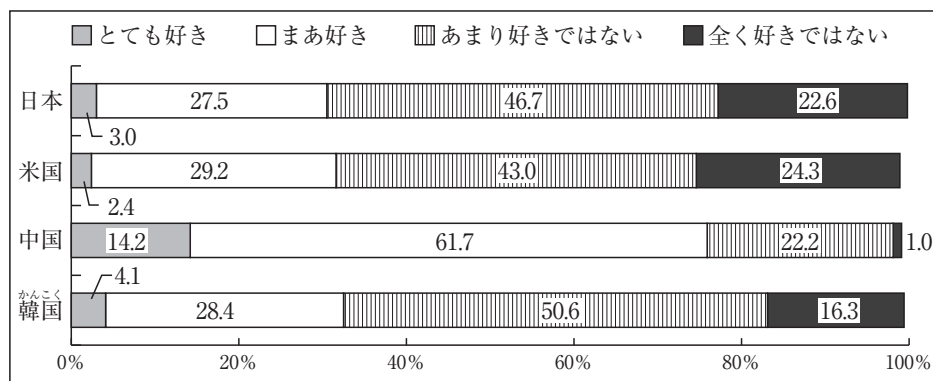
複数の資料から読みとった情報を整理・総合して活用しよう。

例題

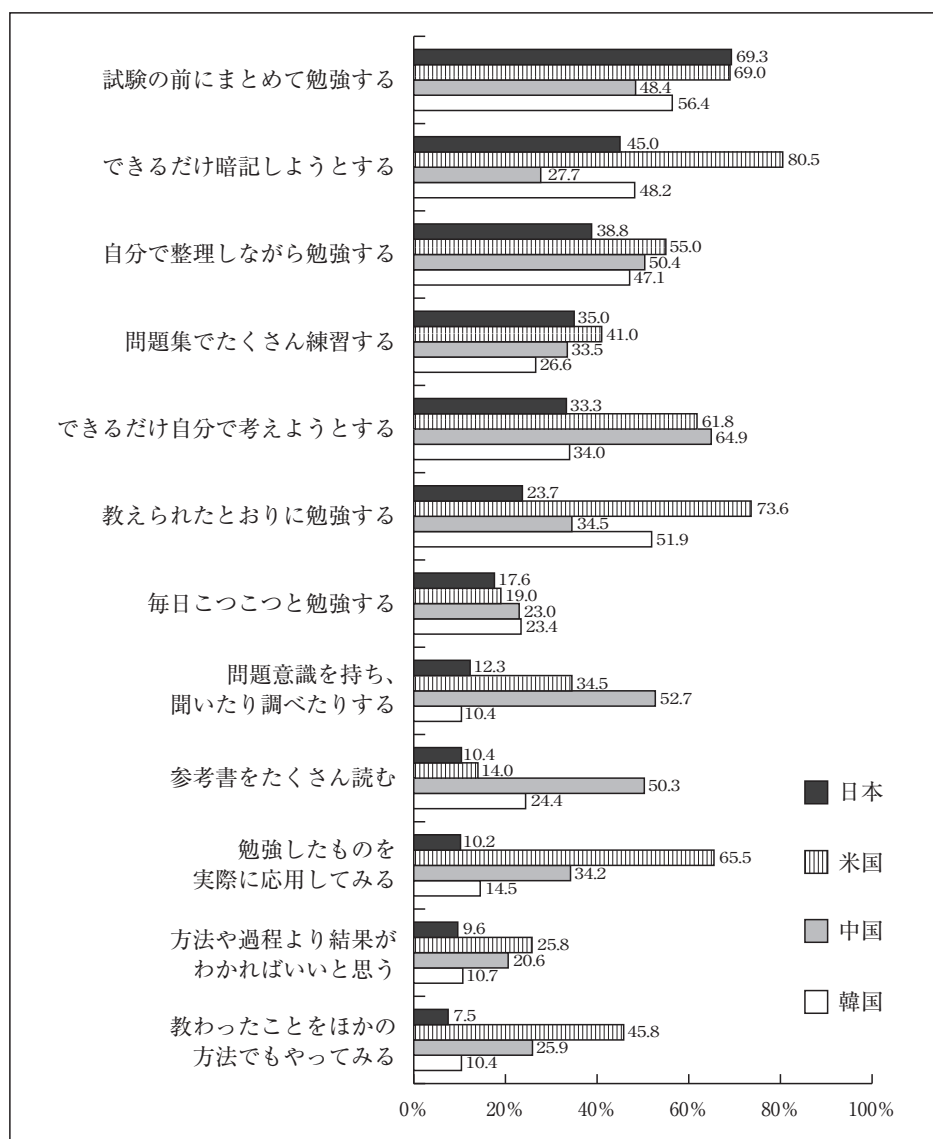
Aさんのクラスでは、勉強についての意識が日本とその他の国とで違いがあるのかを考えるにあたって、次のような資料に注目しました。資料の内容を踏まえて、あとの問いに答えなさい。

資料 高校生の勉強と生活に関する意識調査報告書

グラフ1 勉強がどれくらい好きですか



グラフ2 勉強の仕方



高校生の勉強と生活に関する意識調査報告書

—日本・米国・中国・韓国の比較—

平成 29 年 3 月 国立青少年教育振興機構

※無回答の割合を表記していない。

問 次の話し合いを読んで、空欄にあてはまる言葉を答えなさい。

Aさん 二つの資料のうち、**グラフ1**を見ると、中国と他の三ヶ国で、大きな違いがあることに気づきますね。「とても好き」「まあ好き」を合わせた数値が、中国の高校生では**①** %と他の三ヶ国に比べて非常に高くなっています。ここからは、中国の高校生は他の三ヶ国の高校生に比べて**②** 人が多いということが言えると思います。ではここで、日本と中国の違いについて考えてみたいと思います。

Bさん 勉強の仕方について調べた**グラフ2**からは、十二の項目の中で、中国の高校生は、「**③**」、「問題意識を持ち、聞いたり調べたりする」、「自分で整理しながら勉強する」という項目の割合が高いことが分かりますね。

Cさん それに比べて日本は、「**④**」、「できるだけ暗記しようとする」という項目の割合が高いようです。この違いが、勉強が好きかどうかにつながっているのではないのでしょうか。

Bさん そうすると、「勉強が好き」という意識には、試験のための暗記中心の勉強の仕方ではなく、**⑤** という勉強の仕方が、深く関連しているのではないかと推測できますね。

考え方

ステップ1 資料から読みとれる情報を整理しよう。

グラフ1：四ヶ国の高校生のうち勉強が好きと考える人の割合

・中国の高校生 「とても好き」「まあ好き」を合わせた

数値が75・9%

↓他の三ヶ国よりも勉強を好きと考える高校生が**①**

・その他の三ヶ国 「あまり好きではない」「全く好きではない」を合わせた数

値の方が高いという点で、傾向は同じ

グラフ2：四ヶ国の高校生の**②**

・中国の高校生 「できるだけ自分で考えようとする」、「問題意識を持ち、聞いたり調べたりする」、「自分で整理しながら勉強する」の割合が他の項目より高い

・日本の高校生 「試験の前にまとめて勉強する」「できるだけ暗記しようとする」の割合が他の項目より高い

ポイント1

資料を読みとる際は、次の手順で情報を整理する。

①何を表した資料かをつかむ。

②タイトルや項目・数値などを比較し、他との違いや特徴的な部分を見つける。

ステップ2 情報をもとにどんなことが分かるかを考えよう。

中国と日本の高校生の勉強の仕方を比較する

・中国の高校生

③ を持って取り組み、自分で考え、整理しながら勉強している ↓勉強が好き人が多い

・日本の高校生

試験に備えてできるだけ暗記しようとしている ↓勉強が好きではない人が多い

試験のための暗記中心の勉強の仕方ではなく、問題意識を持って取り組み、自分で考え、整理しながら勉強するという姿勢が、勉強が好きだという意識と関係があるのではないかと考えられる。

ポイント2

読みとった情報同士を、比較したり関連づけたりして、どのようなことが言えるのかを考える。

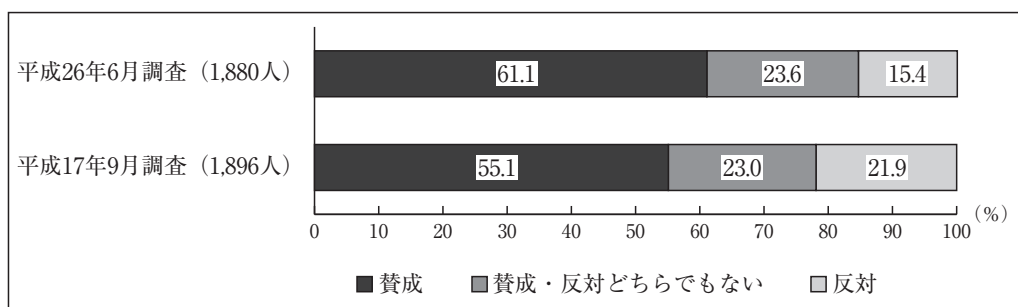
答

① 中国の高校生は他の三ヶ国の高校生に比べて非常に高い割合で勉強が好きと答えている。
② 中国の高校生は他の三ヶ国の高校生に比べて非常に多い。
③ 中国の高校生は「自分で考えようとする」「問題意識を持ち、聞いたり調べたりする」「自分で整理しながら勉強する」の割合が他の項目より高い。
④ 中国の高校生は「自分で考えようとする」「問題意識を持ち、聞いたり調べたりする」「自分で整理しながら勉強する」の割合が他の項目より高い。
⑤ 中国の高校生は「自分で考えようとする」「問題意識を持ち、聞いたり調べたりする」「自分で整理しながら勉強する」の割合が他の項目より高い。

資料

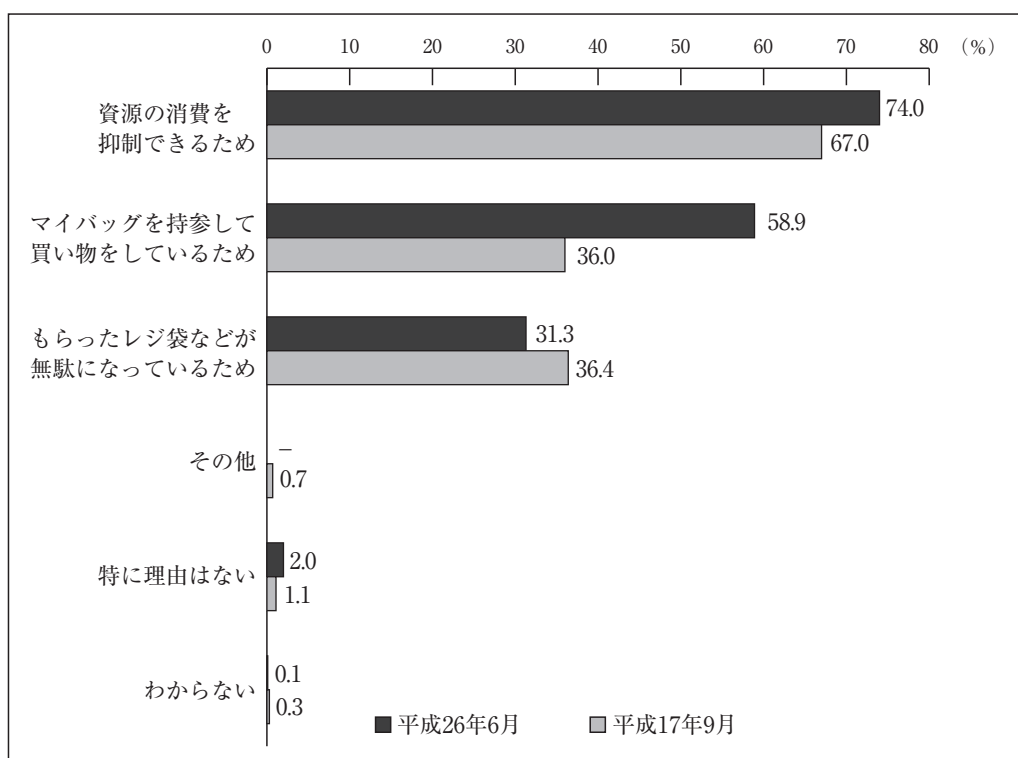
① 次の資料は、レジ袋有料化についての調査資料です。これらを踏まえて、あとの問いに答えなさい。

グラフ 1 レジ袋無料配布禁止についての賛否



グラフ 2 レジ袋無料配布禁止賛成の理由

レジ袋無料配布禁止について「賛成」と答えた人を対象に調査。(複数回答、上位2項目)



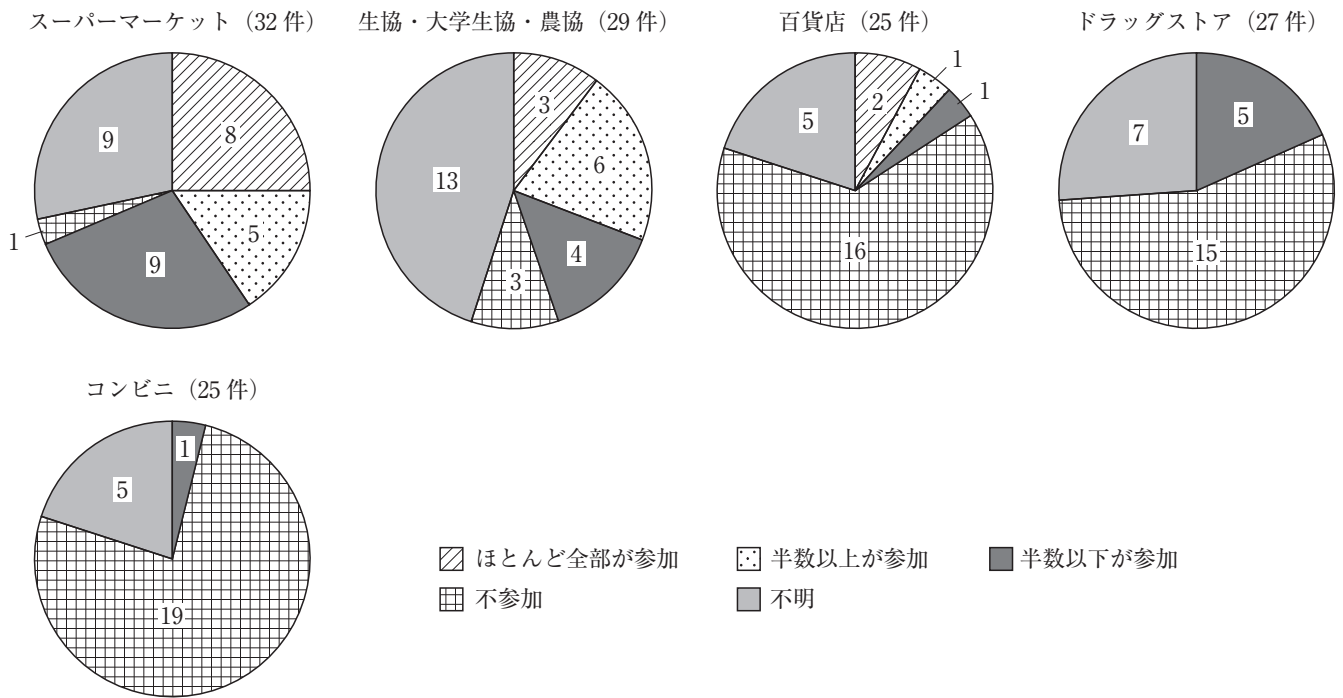
グラフ 1・グラフ 2・(2)② ア・イ・ウ

「循環型社会形成に関する世論調査 (平成 26 年 6 月)」(内閣府)

(<https://survey.gov-online.go.jp/tokubetu/tindex-h26.html>) を加工して作成

練習問題

グラフ 3 レジ袋有料化の取り組みへの事業者の参加状況（回答のあった都道府県の件数）



「レジ袋に係る調査（平成 27 年度） 5. レジ袋有料化の取組詳細」（環境省）
（http://www.env.go.jp/recycle/yoki/c_1_questionnaire/questionnaire_27_b_2_5.html）を加工して作成

□ (1) グラフ 1 ～ 3 から読みとれることについて述べたものとして、次のア～エのうち、正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい。

ア レジ袋の無料配布禁止に賛成する人が増えており、またレジ袋を使用しないでいいマイバッグを持参する人が増加している。

イ レジ袋の無料配布禁止に対して賛成する消費者は増加しているものの、資源の無駄遣いを防ごうという意識は高まっていない。

ウ レジ袋を無駄にすることを気にする人は増加しているが、百貨店ではレジ袋の有料化が進んでいない。

エ スーパーマーケットや生協と比べると、ドラッグストアやコンビニでは、レジ袋の有料化が進んでいないと言える。

〔 〕

〔 〕

〔 〕

〔 〕

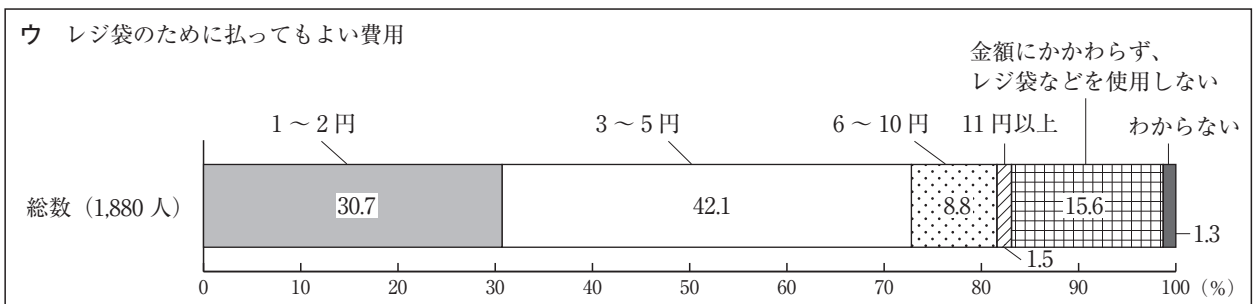
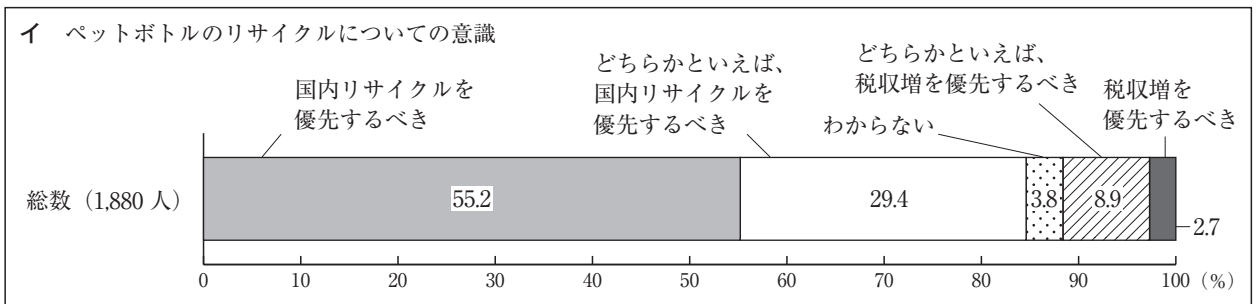
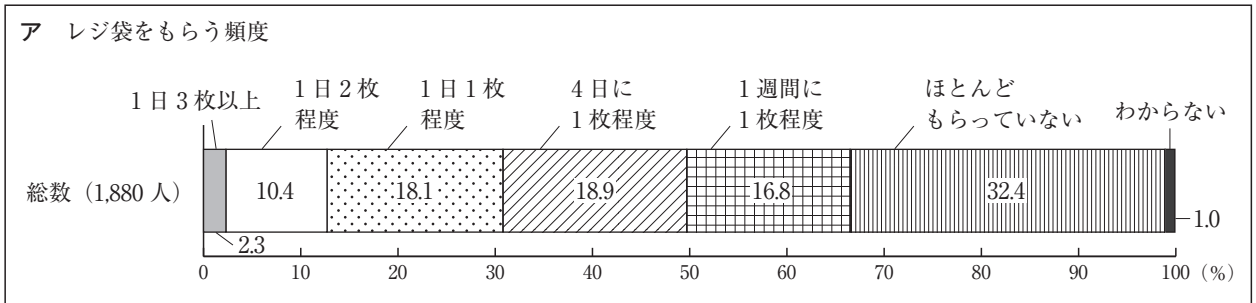
(2) 次の文章は、資料をもとにした、Xスーパーマーケットで行われたレジ袋有料化を進めるための取り組みについての話し合いです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

木村さん レジ袋を有料化すると、お客さんが負担に感じないでしょうか。
横山さん **A** から、レジ袋の無料配布は禁止してもいいと考えている人が多く、また増加もしているので、有料化を受け入れてくれる人は **B** のではないかと思います。レジ袋の料金として妥当であると思ってもらえる金額を設定してはどうでしょうか。
安居さん レジ袋の有料化は、スーパーマーケットで特に進んでいます。ただ有料化されていないスーパーマーケットでも、積極的にレジ袋を辞退してもらえないような取り組みを考えられれば、有料化を進める第一歩となるのではないのでしょうか。

□① 横山さんの発言について、**A**・**B** にあてはまる言葉として最も適当なものの組み合わせを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア A グラフ1 B 少ない
- イ A グラフ1 B 多い
- ウ A グラフ2 B 少ない
- エ A グラフ2 B 多い

□② 横山さんの提案を検討するために必要な資料として最も適当なものを、次のア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。



□③ 傍線部について、あなたならどのような取り組みをするとよいと考えますか。あとの条件に従って、百字以上百二十字以内で答えなさい。

Xスーパーマーケットの会員特典

- ・ 買い物をした金額によってポイントがたまるポイントカードを発行
- ・ たまったポイントは買い物に使ったり、スーパーマーケットのオリジナルグッズと交換したりできる
- ・ 割引やお店の情報が分かるメールマガジンが週一回届く

条件

- 1 二段落構成で書くこと。
- 2 一段落目には、どのような取り組みをするのかを、右のXスーパーマーケットの会員特典を踏まえて書くこと。
- 3 二段落目には、その取り組みを選んだ理由をグラフ2を踏まえて書くこと。

